

オプトアウト

千葉市立青葉病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、お問い合わせ下さい。

研究課題(研究番号)	治療関連急性骨髄性白血病において原発悪性腫瘍に対する治療が同種移植成績に及ぼす影響の検討 日本造血細胞移植学会WG二次調査研究(WG2-73) Ver.1.0(2020年1月10日)
当院の研究責任者(所属)	鐘野 勝洋(血液内科)
多施設共同研究の場合、主たる研究機関および研究責任者(所属)	造血細胞移植学会、造血細胞移植データセンター 研究責任者 福井大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 新家裕朗
研究の目的	多様な原発悪性腫瘍を背景としたt-AML患者の移植後合併症のリスクを正確に把握することで同種移植療法の適正化や成績改善に寄与するエビデンスを創出する。
対象となる調査期間	2011年1月から2018年12月まで
対象となる患者様	2019年度TRUMP固定データにおいて、上記対象期間に初回同種移植を実施した、移植時16歳以上の治療関連白血病の患者
使用する情報、試料等([○]の項目を利用します)	[]血液、[]唾液、[]毛髪、[]病理組織、[]排泄物(尿・便)、 [○]診療記録、[○]臨床検査データ、 []その他(空白に記載)
情報や試料の他の研究機関への提供およびその方法	第2世代造血細胞移植登録一元管理プログラム(TRUMP2)に登録された匿名化情報から対象患者を抽出し、対象患者に関して紙の調査票を用いて収集し、日本造血細胞移植データセンター宛に郵送する。
研究期間	承認日～2025年3月31日まで
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所などの患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表される予定ですが、その際にも患者様を特定できる個人情報は利用しません。
備考	診療情報や試料等を研究目的に利用されることを希望されない場合でも、診療上不利益な取り扱いを受けることはありません。

申請日 2020年8月28日

入力者 鐘野 勝洋

終了日

入力者

試験が終了したら、上記を入力の上事務局までご連絡下さい。
HP掲載を終了します。